

## 6. 社会経済的要因と過体重・肥満との関連

### NIPPON DATA2010 国民生活基礎調査 社会的要因の検討

\* はグループリーダー

- 研究協力者 中村 富予（龍谷大学農学部食品栄養学科 教授）  
研究分担者 中村 保幸（龍谷大学農学部食品栄養学科 教授）  
研究分担者 斎藤 重幸（札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授）  
研究分担者 岡村 智教（慶応大学医学部衛生学公衆衛生学 教授）  
研究協力者 柳田 昌彦（同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授）  
研究分担者 由田 克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学 教授）  
研究分担者 喜多 義邦（敦賀市立看護大学看護学部看護学科 准教授）  
研究分担者 村上 義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授）  
研究協力者 横道 洋司（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 准教授）  
研究分担者 西 信雄（医薬基盤・健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長）  
研究分担者 奥田奈賀子（人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科 教授）  
研究分担者 門田 文（滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授）  
研究分担者 大久保孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）  
研究分担者 上島 弘嗣（滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授）  
研究分担者 岡山 明（生活習慣病予防研究センター 代表）  
研究代表者 三浦 克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授）

【背景】わが国に於いて、社会経済的要因の不均衡が過体重・肥満を招来させることを示唆する研究はきわめて少ない。

【目的】日本人一般集団における社会経済的要因と過体重・肥満との関連を検討する。

【方法】2010年国民健康・栄養調査においてNIPPON DATA2010 ベースライン調査に参加した20歳以上成人のうち、妊婦・授乳婦、世帯年収等のデータがないものを除外した2,518人（男性1,098名、女性1,420名）を対象とした。多項ロジスティック回帰分析を用いて、肥満カテゴリー（BMI:<18.5、18.5-25、25-30、>30）の25-30（過体重）、>30（肥満）を目的変数として（18.5-25を基準）、飲酒、喫煙、エネルギー摂取量等を介在因子とし、曝露要因：社会的経済的要因（世帯年収、学歴など）のオッズ比を算出した。さらに、年齢階級別（20-39歳、40-64歳、65歳以上）検討を行った。

【結果】世帯年収、学歴と性別には交互作用があったので男女別に解析した。男性では肥満のものは年齢が有意に低く、女性では過体重のものは有意に高かった。男性では喫煙、女性は世帯人数、年収、学歴と肥満カテゴリーに有意差がみとめられた。女性では、世帯収入600万円以上の

ものに比べて、200-600万円未満、200万円未満のものは有意に過体重、肥満のリスクが高くなった。また、大学卒業以上のものに比べて、高校卒業までの女性は有意に過体重のリスクが高くなった。年齢階級別では、女性の40-64歳で同様の結果が得られた。男性では世帯年収、学歴と過体重・肥満リスクとの有意な関連は見られなかった。

【結論】女性においては世帯収入が低いこと、学歴が低いことは過体重・肥満と関連していた。しかし、男性では有意な関連は見られなかったことより、性別により社会的経済的要因は異なり、さらに肥満・過体重に影響を与えている喫煙などの生活習慣の介在因子も異なる可能性がある。

**表 世帯収入・学歴と肥満カテゴリーとの関連**

	男性					
	<18.5		25-30		≥30	
	OR	95%CI	OR	95%CI	OR	95%CI
<b>学歴</b>						
大学卒業以上	1		1		1	
高校卒業まで	0.95	(0.44-2.05)	1.08	(0.80-1.47)	0.51	(0.24-1.11)
<b>世帯収入</b>						
600万円以上	1		1		1	
200～600万円未満	1.24	(0.73-3.08)	1.03	(0.73-1.46)	2.05	(0.74-5.71)
200万円未満	1.29	(0.41-4.04)	1.01	(0.64-1.59)	3.33	(0.94-11.83)
	女性					
	<18.5		25-30		≥30	
	OR	95%CI	OR	95%CI	OR	95%CI
<b>学歴</b>						
大学卒業以上	1		1		1.00	
高校卒業まで	1.27	(0.82-1.97)	<b>1.56</b>	<b>(1.09-2.24)</b>	2.39	(0.99-5.78)
<b>世帯収入</b>						
600万円以上	1		1		1	
200～600万円未満	0.67	(0.43-1.04)	<b>1.61</b>	<b>(1.06-2.44)</b>	2.24	(0.76-6.61)
200万円未満	0.82	(0.45-1.50)	<b>1.73</b>	<b>(1.15-3.11)</b>	<b>4.49</b>	<b>(1.40-14.41)</b>

OR：年齢， 家族数，エネルギー摂取量，PAI（身体活動係数），飲酒習慣（非飲酒者，過去飲酒者，飲酒者），喫煙習慣（非喫煙者，過去喫煙者，喫煙者）

**第27回日本疫学会学術総会（2017年1月25日～27日 甲府市）発表**